

道写協

北海道写真協会

事務局 ■札幌市中央区大通西3丁目6道新文化事業社内
011-210-5735(直通) 011-207-3939(FAX)
<http://www.dosyakyou.org/>

第132号

第64回写真道展にむけて

審査委員長 山本康雄



傑作は迷いの中から

時空の中で繰り広げられる瞬刻を切り取り、活動してきた成果を試す時が近づいてきました。写真とは何かと考えた時、表現者として、主張と感動の伝達。対話の記録が写真ではないでしょうか。そこには、みつめる心が根底にあることが求められます。クリエイティブの追求が傑作を生み、ドキュメントの世界、真実の記録を作者の感性、即ち、磨かれた表現力による作品であり、オリジナリティであるところに写真の値打ちがあると考えます。
絶え間なく撮っていることにより感覚が磨

かれ、閃きが生れて来るのではないのでしょうか。挑戦と試しの中から新しい世界が広がり、迷いの中から傑作が生まれてくると信じています。常に心の眼を磨いておくことにより、イメージが蓄積され、魅力的、感動的な現象に接した時、咄嗟に機転が利き、躊躇なくシャッターを切ることが出来、臨場感とともに人々の心に響く作品が記録されると信じています。

栄冠を目指して

公募展である写真道展の過去を振り返りますと、入選、入賞者の方々の傾向が浮かんできます。前年の結果を分析し、次年の狙いを定め、新しいテーマに挑戦しています。決して人真似をしないことがコンテストでは必須でしょう。視点がしっかり表現されている作品が栄冠を獲得しているようです。

狙いは一ツ、力は一ツに纏めることが肝要と思います。プリントにつきましても出品作品には細心の注意を払うべきでしょう。デジタルプリントの多くが自家プリントのようです。唸る程上手いプリントがある一方狙

いは良いが残念なプリントも多く見受けられます。出力には細心の注意を払って頂きたいものです。苦勞して撮られた「力作」はプロラボにイメージを伝え、プリント、出品されることによりチャンスが増し、結果は大きく変わってくるのではないかと想います。

応募規定の確認

詳細につきましては作品募集要項に記されています。注意事項を熟読し、秀作が無駄にならないように注意して下さい。例年指摘されているのが二重応募と類似作品です。モラルの問題です。厳に慎みましよう。類似作品の複数部門への応募。部門違い、これらは失格となりますので注意が必要です。

第二部観光、産業のみ撮影地が道内に限定されています。第一部、第三部とも国内はもとより、海外作品等の制限は全くありません。サバンの動物、北欧のオオロラ、マッキンリーの山並み等、スケール感とダイナミックな被写体に可能性を感じます。風景写真の中に一部添景としての人物、工作物の入った作品も審査対象となります。奮ってご応募下さい。会員の皆様の健闘を祈ります。

・ 略歴 / 一九九九年北海道開発庁長官賞、写真道展大賞受賞。

二〇〇一年環境大臣賞受賞。

二〇〇二年国土交通大臣賞受賞。

・ 個展 / 二〇〇八年大雪の形象(大雪山)

東京、札幌富士フィルムフォトサロン。

・ 写真集 / 二〇〇七年二月「大雪形象」(出版予定)

北海道写真協会、写真道展審査委員会、日本写真協会会員。

心に残る旅がある

心の印画紙に焼き付けたい旅があります。
旅の出会いはフォトジェニック。
カメラ片手に出かけてみませんか。

◆お問い合わせ・お申し込みは
TEL(011)241-6401
ホームページ <http://www.doshinkanko.com/>

営業時間
月~金曜日 9:30~18:00
土曜日・日曜日・祝日は休業

旅行企画・実施
安心と信頼の

道新観光

〒060-0042 札幌市中央区大通西3丁目道新ビル北一条館1階 道新プラザ内

私が期待する写真

招聘審査員 水本一義

オリジナリティを大切に



「写真道展」の審査をさせていただくのは楽しみです。皆さまが心を込めて撮った作品を拝見

できるからです。

写真はカメラという道具を使って、目の前にある光景を正確にしかも瞬時に記録します。リアリティのあるメディアです。写真を見れば何が写っているのかわかります。しかし内容を伝えるには少し曖昧なメディアでもあります。

また写真は作者の感性や考えを反映したものです。写真の中に撮影者が存在していると申しても過言ではないでしょう。一人ひとり違うように、自分独自のものの見方、写真の作り方をすることです。そこにこそ作品のオリジナリティがあります。

撮影は目・心・足を使って

会員の皆さまは北海道というエリアにお住まいです。同じような対象を撮影する機会が多く、似た傾向になりがちです。オリジナリティのある表現とするには好きな対象を選び、何度でも足を運ぶことです。撮影する機会

を多くするとイメージに適合したシーンに会うチャンスも増えるでしょう。予想外の出会いがあるかもしれません。より良い表現するために創意工夫もあります。撮影は目、心と足を使うものです。

写真選びは客観的に

撮った作品には愛着があるので写真選びは悩むと思います。「写真道展」への出品が目的です。写真から何が伝わるか。視覚効果はあるかを判断する必要があります。

写真は審査員の方が見るわけですから客観的に見ることです。心を動かして撮った写真は、現実の似姿、バーチャルな空間です。

写真選びは表現されているものを受け止めることです。感性に触れた作品は想像力が高



水本一義 近作「フェンス」 2016.5.1 撮影 (モノクロ)

まり、深い思いにとらわれます。写真選びに熱中するのも有意義な時間です。写真とじつくり向かい合ってほしいと思います。雄大な北海道の風景、都市の生活や日常の光景など、題材は数多くあります。皆さまの思いのこもった作品を期待いたします。

◆水本一義先生の紹介◆

東京写真短期大学卒(現・東京工芸大学)、東京写真学院(現・東京ビジュアルアーツ)教職に就く、1991年札幌デザイン学院写真学科、1999年札幌ビジュアルアーツ開校と同時に学長、名誉学長を経て退任。NHK学園の写真講座や高等学校文化連盟等に携わる。日本写真芸術学会、日本写真協会会員。

写真集出版の案内

高橋 和幸

「大雪山・春夏秋冬魅せられた岳々」



北海道の屋根と言われる大雪山系のスケールの雄大さと美しさに魅せられ、平成10年から山岳写真を撮り続けています。高橋和幸審査委員は喜寿を迎える記念に、これまで3回開いた個展の集大成として、写真集を出版しました。

この写真集は、一般では売られていませんので、会員の方で貸し出しの希望があれば、対応することです。

連絡先 高橋 和幸(釧路支部)

〒0850841

釧路市緑ヶ岡5丁目13の23

電話 0154-46-2496

支部探訪—小樽

支部長 川原 静雄

■設立は63年前

道写協小樽支部は、昭和28年頃に市内の5つのカメラ店の代表者が中心となって設立され、カメラ店を利用する写真愛好家が集まって運営されていました。

設立当時の支部への入会は、個人が自由に加入できる会ではなく、役員の推薦が必要とされ、写真活動で実績のある人に限るといった厳しい条件があったそうです。

現在の会員数は25名で、多くの会員が写真道展を目指しています。現在審査会員が4名、会友は7名で審査会員・会友の比率が大きくなっています。

■展覧会やコンテスト

例会は年5回開催し、互選と審査会員の審査、講評などを参考として、より良い作品づくりに努めています。



例会で 左から3人目が川原支部長

展覧会は、市立小樽美術館で会員が日頃撮り貯めたベストショットを発表する「道写協小樽支部写真展」を開催。「例会上位作品展」を道新小樽支社ギャラリーで展示するほか、「写真道展巡回展」を開催し、多くの市民に鑑賞していただき、写真と触れ合う機会を設けるよう努めています。

市内での写真コンテストは2つあり、その一つは支部主催による「道写協小樽写真コンテスト」で、小樽だけにとどまらず後志管内各地の写真愛好家の参加もあり、レベルの高いコンテストとして評価されています。



『運河クルーズ』川原支部長撮影

■小樽美術館に協力

平成22年に市立小樽美術館30周年企画展として「写真と絵画による小樽今昔物語2」に会員8名が全紙で出品しました。また、

「おたる潮まつり」が今年で50周年を迎えるため、記念事業として、特別展「まつり写真展」に会員9名が全紙で出品するなど、小樽市の行事に積極的に協力し、参加しています。そして「モデル撮影会&フォトコンテスト」を小樽支部が運営主体となって実施しました。



おたる潮まつり50周年記念モデル撮影会 28.7.17(日)実施

撮影会のモデルは、日本舞踊藤間流師範藤間扇久華師匠。撮影指導とコンテストの審査は本郷正利、瀧野邦保両審査会員が行い、市外からも多数の参加があり、入賞作品を小樽美術館で展示しました。

例会、コンテスト、写真展などの活動を展開しながら、小樽の写真文化・芸術の発展のために、引き続き努力していきたいと考えています。

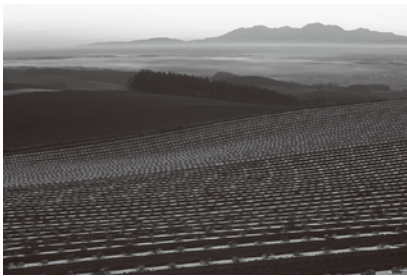
◆学生写真道展呼び掛け◆



創造的で若い感性の作品を応募してください

10月20日、帯広市民文化ホールで開催中の高文連・全道高校写真研究大会で案内リーフレットと応募要項を500部配布しました。帯広支部の皆様お疲れさまでした。

写真展 案内



奈良美弥子 写真展

大地のうたがきこえる —土に生きる

- 会期：2017年2月3日(金)～8日(水)
- 会場：富士フィルムフォトサロン札幌

札幌支部会友の奈良美弥子さんが富良野・美瑛・芦別の丘陵地で土に生きる人々を表現した写真展を開催。東京・大阪でも好評でした。
問合せ—miyamato@jcom.home.ne.jp

第4回 支部例会フォトコンテスト 入賞・入選作品

平成28年5月～11月



審査風景



1席「霞ゆくジャングル」(カラー) 藤田万里子 (札幌)

■第4回 支部例会フォトコンテスト審査発表

北海道写真協会会長 本郷 正利

平成28年12月8日北海道新聞社において、第4回支部例会フォトコンテストの審査が行われました。全道10支部、66名の会員より150点の作品が寄せられました。出品支部は前回と同じですが、出品者・数とも幾分前年を上回りました。各支部例会の上位作品と言う事で、レベルの高い作品の中から、谷口勲夫審査委員長の厳正で慎重な選考により、以下の会員と支部が入賞・入選されました。おめでとうございます。

◆個人賞

- 1席 藤田万里子 (札幌)
- 2席 高橋 正子 (岩見沢)
- 3席 鳥海 政史 (室蘭)
- 3席 中川 昌子 (岩見沢)
- 3席 小林 好江 (小樽)
- 3席 林田 定昭 (釧路)
- 入選 久留島誠悦 (苫小牧)
- 安田 敏彦 (札幌)
- 佐野 ミヨ (恵庭)
- 澤田 住子 (三笠)

◆支部賞

- 1位 岩見沢支部 (14点)
- 2位 札幌支部 (13点)
- 3位 室蘭支部 (8点)
- ※1席(10点) 2席(8点)
- 3席(6点) 入選(3点)

※支部賞は3支部まで。

※表彰授与は、平成29年度支部長会議(総会)で行います。

■講評

日本写真芸術学会会員 谷口勲夫

- 1席▼藤田万里子さん「霞ゆくジャングル」札幌中心部白い朝雪ならぬ霧に覆われJRも部分連休。珍しい気象現象を捉えたニュース性の高い作品として評価します。
- 2席▼高橋正子さん「幻日環」美瑛市の公園で太陽の中心を通る光の環。その頂点には彩雲らしきものが写る大気現象に遭遇。魚眼レンズを巧みに使い宇宙の神秘を見事に表現。
- 2席▼鳥海政史さん「野球ダンサー」甲子園を目指す高校球児を、ダンスパフォーマンスで応援する後輩たち。画面から飛び出す躍動感、青春まつた中の臨場感が伝わります。
- 3席▼中川昌子さん「目覚の丘」美瑛の丘は光と影の変化をどう読むか色温度の世界です。けあらしのような描写が畑の稜線を際立たせたフレーミングはお見事です。
- 3席▼小林好江さん「イエー」小樽潮まつりのひとコマ、粋な着こなしのおちゃめな笑顔の女性。見る側もなごむ瞬間を見事に撮った上手なスナップショットです。
- 3席▼林田定昭さん「変形太陽と曇気楼」風連湖で氷点下20度の世界で念願の幻影に出会い、800ミリで興奮しながら狙った一枚からは、凜とした感動が伝わります。



3席「イエーイ」(カラー) 小林好江 (小樽)



2席「幻日環」(カラー) 高橋正子 (岩見沢)



3席「変形太陽と蜃気楼」(カラー) 林田定昭 (釧路)



2席「野球ダンサー」(カラー) 鳥海政史 (室蘭)



入選「鍛える」(カラー) 久留島誠悦 (苫小牧)



2席「目覚の丘」(カラー) 中川昌子 (岩見沢)



入選「月への誘い」(カラー) 佐野ミヨ (恵庭)



入選「何を呉れるの?」(カラー) 澤田住子 (三笠)



入選「わっ気持ちいい」(カラー) 安田敏彦 (札幌)

支部例会成績

札幌 支部長 山本隆晟

- ▽8月例会19日 宮川恵子審査委員選考
- ▽藤田万理子②高谷憲次郎③安田敏彦④今野紗衣⑤林繁造⑥今明美⑦幾田祥健⑧難波江⑨村上和子⑩三戸健吉
- ▽9月例会16日 加賀谷重雄審査委員選考
- ▽9月例会16日 山形典夫③安田敏彦④山本隆晟⑤今明美⑥藤田万理子⑦難波江⑧掛村一憲⑨澤田一夫⑩木全正樹
- ▽11月例会18日 河江利幸審査委員選考
- ▽11月例会21日 経塚剛敏審査委員選考
- ▽11月例会21日 林繁造②山形典夫③安田敏彦④山本隆晟⑤今明美⑥藤田万理子⑦難波江⑧掛村一憲⑨澤田一夫⑩木全正樹
- ▽11月例会18日 小賀野京子

余市 支部長 一戸弘利

- ▽9月例会18日 審査互選
- ①③⑥⑦谷橋準一①④⑥金子勝彦②谷橋誠子④
- ⑤一戸弘利④青木延弘⑤塩野謙造⑤石岡誠三
- ▽10月例会15日 審査互選
- ①④⑥塩野謙造②⑥⑦一戸弘利②④石岡誠三
- ③④⑤⑥谷橋準一⑥谷橋誠子
- ▽11月例会20日 審査互選
- ①②塩野謙造②④⑤一戸弘利③⑤石岡誠三⑤谷橋誠子



9月例会 1位「キアゲハチョウ」(カラー) 谷橋準一

栗山 支部長 黒田幸則

- ▽9月例会9日 山岸幸雄審査委員選考
- ①③黒田幸則②③中島武士②齋藤優子(入選)齋藤優子 中島武士 敦賀千恵子 黒田幸則 志田静治

岩見沢 支部長 山崎正義

- ▽8月例会(10日 審査互選)
- ①③中神由美子②⑤中川昌子④木村克己
- ▽9月例会(14日 審査互選)
- ①鈴木佳夫②中神由美子④中川昌子④木村克己
- ▽10月例会(12日 審査互選)
- ①③中神由美子②友広茂夫③⑤中川昌子
- ▽11月例会(9日 審査互選)
- ①④中川昌子②高橋正子③木村克己④菅原亜美④友広茂夫

三笠 支部長 伊藤修身

- ▽9月例会(23日 加賀谷重雄審査委員選考)
- ①古平文男②⑤伊藤修身③金武紀雄
- ④⑥澤田住子⑦高橋英昭



撮影会結果 (加賀谷重雄審査委員選考) 推薦 高橋英昭 「籠の点検」(カラー) 高橋英昭 推薦 高橋英昭 籠の点検・伊藤修身・準特 古平文男・澤田住子・当銀敏人 入選 高橋英昭・澤田住子・上田進・金武紀雄・河合有志・伊藤修身・石橋昭次郎・古平文男

小樽 支部長 川原静雄

- ▽9月例会(7日 瀧野邦保審査委員選考)
- ①小林好江「イエ〜イ」②根本辰男③白石純④一條周⑤嵯峨秋雄⑥佐々木博⑦松居秀昭



9月例会 1位「イエ〜イ」(カラー) 小林好江

- ▽11月例会(7日 増田輝敏審査委員選考)
- ①一條周一②根本辰男③嵯峨秋雄④松居秀昭

旭川 支部長 馬場和美

- ▽8月例会(11日 田本實審査委員選考)
- (特選)①⑤白田忠雄②白鳥敏昭③小山満④佐藤繁雅(入選)田中昭一 鈴木幸雄 山本義則 吉田祥子 外
- ▽9月例会(9日 田本實審査委員選考)
- (特選)①白鳥敏昭②山本義則③田中昭一④⑤小山満(入選)佐藤繁雅 細川貞子 鈴木幸雄 池田政人 吉田清治郎 吉田祥子 外
- ▽10月例会(14日 福田・田本審査委員選考)
- (特選)①吉田祥子②佐藤繁雅③⑤森田正義④細川貞子(入選)小山満 白田忠雄 武田千枝子 宮野和子 鈴木幸雄 外
- ▽11月例会(10日 志賀・田村・福田・田本審査委員選考)
- (特選)①小山満②細川貞子③白鳥敏昭④田中昭一⑤吉田祥子(入選)浦島寛 池田政人 佐藤繁雅 白田忠雄 森田正義 吉田清治郎 武田千枝子 外

恵庭 支部長 西澤 實

- ▽8月例会(8日 審査互選)
- ①今莊義弘 「雲海の上の星空」
- ②佐野ミヨ
- ③加藤憲秋
- ④小坂橋勝一
- ④田中康夫
- ⑥五東建夫
- ⑦西澤實
- ⑦中岡正美



8月例会 1位「雲海の上の星空」カラー 今莊義弘

- ▽9月例会(12日 審査互選)
- ①佐野ミヨ②加藤憲秋 小坂橋勝一・中岡正美・吉村剛士・村登美子⑩菅原恵子・今莊義弘・五東建夫
- ▽10月例会(10日 審査互選)
- ①吉村剛②田中康夫③佐野ミヨ③吉村登美子⑤菅原恵子⑥小坂橋勝一⑦中岡正美⑧村井正人
- ▽11月例会(14日 加賀谷重雄審査委員選考)
- ①村井正人②吉村登美子③佐野ミヨ④吉村剛⑤中岡正美⑥今莊義弘⑦加藤憲秋⑧⑨小坂橋勝一

釧路 支部長 岡本雄毅

- ▽9月例会(8日 佐藤武治審査委員選考)
- ①松坂正彦②林田定昭③蛭名昇④内海大輔⑤富田智春⑥山口良雄
- ▽11月例会(10日 奥野時夫審査委員選考)
- ①林田定昭「蜘蛛とバラの日々」②北構善一朗③松坂正彦④水谷博之⑤鈴木啓司郎⑥富田智春
- 11月例会 1位「蜘蛛とバラの日々」(カラー) 林田定昭



留萌 支部長 崎出恒夫

- ▽8月例会(7日 審査互選)
- ①谷幹浩②③⑤松葉師正④高山良太④崎出恒夫
- ▽9月例会(4日 審査互選)
- ①畑忠幸②加藤美佳③澤岡政江③⑤川上正己④⑤崎出恒夫
- ▽10月例会(16日 経塚剛敏審査委員選考)
- ①⑤松葉師正②澤岡政江③川上正己④⑥⑩加藤美佳
- ▽11月例会(13日 審査互選)
- ①②松葉師正①崎出恒夫②④加藤美佳②畑忠幸③澤岡政江

室蘭 支部長 佐々木昇

- ▽9月例会(21日 中野潤子審査委員選考)
- ①③田村謙次②山田清滋②柝元幸一③吉井良平③峯岸弘法(入選)玉木英雄 長澤剛 尾形和雄 成田正利 三輪博 太田秀樹 高木妙子
- ▽11月例会(22日 山下智審査委員選考)
- ①②田村謙次②玉木英雄③今井富夫③鳥海政史③大坪恵子(入選)成田正利 太田秀樹 吉井良平 工藤司郎 柝元幸一 高木妙子

編集後記 本年もあと数日で終わろうとしています。この1年間の写真活動、お疲れさまでした。新たな年を迎へ「最高の一枚」を目指して有意義な活動を期待しています。(森)